

2002年度ヴェネツィア国際映画祭観客選出グランプリ&最優秀男優賞(ジャン・ロシュフォール)W受賞

本年度ロサンゼルス批評家協会賞最優秀外国語映画賞受賞!!

本年度ニュースウィーク誌選出ベストテン外国語映画最上位

本年度フロリダ批評家協会賞最優秀外国語映画賞受賞

2003年度シアトル批評家協会賞最優秀外国語映画賞受賞

2003年度フランス・リュミエール賞最優秀男優賞(ジャン・ロシュフォール)受賞

2003年度ジャン・ギャバン賞(ジョニー・アリディ)受賞

2003年度ヨーロッパ・フィルム・アワード最優秀男優賞候補(ジャン・ロシュフォール)

2003年度イタリア・ダヴィッド・ディ・ドナテロ賞最優秀外国語映画賞候補



欧米の映画賞を独占したパトリス・ルコント+ジャン・ロシュフォール [髪結いの亭主]コンビの最高傑作、遂に日本公開!!

その男は列車に乗ってやってきた……。シーズンオフの人気の無い街に、人生の苦渋を顔の深い皺に刻み込んだ初老の男が降り立った。草臥れた革ジャンに年季の入った鞆を手にしたその男の名はミラン。彼が懐に隠したカウボーイ・ハットを極めてポーズをとる若かりし頃の写真から、かつての伊達男ぶりがしのばれるものの、彼の過去は自らの意志で封印されている。

正反対の人生を送って来たはずの2人が、その淋しい街で巡り会う。それは偶然なのか、運命だったのか。

彼らは、不思議な縁で結ばれて居たのだろう。次第に互いの存在に共鳴し合うようになる。時間を忘れて語り合うのは、詩のこと、音楽のこと、酒のこと、女のこと、そして、もし生まれ変わったら今度はどんな人生を送りたいか、といったような人生の様々なことなどを。

一方、きっちりとした身なりが性格を物語るマネスキエ。生涯古い邸宅を守り通し、街から出ることをさえ控え、訪ねてくる来客は、詩を学びに来る学生や、夫や子供たちの世話に忍耐を強いられている姉やそして親密な関係にある恋人など限られた人々だけ。かつての大学教授も、今や狭心症の薬なくしては日々を安泰には過ごせない。

しかし二人の間に流れる穏やかで静かな時間は、そう長くは続かなかった。マネスキエとミランにとって、忘れ得ぬ運命の日が刻々と迫っていたのだ。

やがて誰にも訪れる人生最後の刻。短くはなかった己の人生を振り返り、決して叶うことのなかった別の人生に想いを

馳せてみる。そして、もしもその願いを叶えてくれる、違う人生へと乗り換えることが出来る列車があったなら、あなたはその列車に乗ってみたいとは思いませんか?

むせび泣くようなギターの色に乗せて、名匠パトリス・ルコント監督が描く、いぶし銀の男たちの世界。安住の地を拒みさすらい続けて来た男が背負う哀愁と、規律正しい生活を静かに守り通して来た男の含羞。二人の男たちが死の間際

に観たものは、線香花火の灯のように、儚くも鮮烈に瞬く。私たちは、その光景を目の当たりにした時、おそらくは言葉を失うに違いない。そして、次の瞬間、言い様も無い感動に襲われるだろう。



監督:パトリス・ルコント [歓楽通り]

製作:フィリップ・カルカソンヌ [仕立て屋の恋]

脚本・台詞:クロード・クロッツ [髪結いの亭主]

音楽:バスカル・エスティエーヴ [イヴオヌスの香り]

撮影:ジャン=マリー=ドルージュ [橋の上の娘]

Coproduction CINÉ B - ZOULOU FILMS - RHÔNE ALPES CINÉMA - FCC - TUBEDALE FILMS - PANDORA FILM PRODUKTION - WISE POLICY=CINÉMA PARISIEN - ARTIST FILM

配給:ワイスポリシー+アーティストフィルム 提供:ワイスポリシー+アーティストフィルム+あおぞらインベストメント

原作:アーティストハウス刊 [列車に乗った男]クロード・クロッツ著

オリジナル・サウンドトラック:ピクチャー・エンタテインメント <http://www.wisepolicy.com>

[シネマバリジャンは、2004年2月1日付で、社名を“ワイスポリシー”に変更いたしました。]

初夏、待望のロードショー!

■特別鑑賞券 ¥1,500(税込/当日一般 ¥1,800の処) 絶賛発売中!

劇場窓口にてお買い求めの方に先着でオリジナルポスターをプレゼント!

梅田スカイビル(空中庭園)タワーイースト3F

シネリーブル梅田

CINE LIBRE UMEDA

06(6440)5930

大丸東側 神戸朝日ビルB1 F

シネリーブル神戸

CINE LIBRE KOBE

078(334)2126

www.nikkatsu.com